

令和2年の厄除け

※ただし厄年の年齢は「数え年」

男 性			女 性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
平成9年生 24歳 うし	平成8年生 25歳 ね	平成7年生 26歳 ゐ (いのしし)	平成15年生 18歳 ひつじ	平成14年生 19歳 うま	平成13年生 20歳 み
昭和55年生 41歳 さる	昭和54年生 42歳 ひつじ	昭和53年生 43歳 うま	昭和64年生 平成元年生 32歳 み	昭和63年生 33歳 たつ	昭和62年生 34歳 う (うさぎ)
昭和36年生 60歳 うし	昭和35年生 61歳 ね	昭和34年生 62歳 ゐ (いのしし)	昭和60年生 36歳 うし	昭和59年生 37歳 ね	昭和58年生 38歳 ゐ (いのしし)

◎幼児4歳の厄年

平成29年生れ

◎十三詣り厄除け

平成20年生れ 子年 (ね)

・厄年のなかでも「男の大厄42歳、女の大厄33歳」は、昔からとくに注意すべき年とされてきました。厄年は現代の生活においても人生の転換期に当たり、心身共に調子を崩しやすい時といます。厄年にあたる方は、神社で厄除けの御祈祷をお受けになり、神様のご守護のもとで健康で幸せな生活をおくれるようご祈願するとよいでしょう。

・なお「数え年」とは、誕生した時を1歳と数え、やがて初めてのお正月が来ると2歳、以後もお正月を迎えるごとに年齢を重ねていくというわが国古来のかぞえ方です。そこには新年を迎えて、神様から新たにいのちをいただくという祈りがこもっているのです。 →「数え年」の求め方：ご自分の満年齢に、誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えれば「数え年」となります。